

た。村人は歓迎で大きわぎでした。

「てんぼう」とからかわれたあの清作が、医者になつたら太陽が西から出るといわれた清作が、本当に医者になり、それも、世界の大医学者になつて帰つてきたのです。

母シカは、英世の出世は中田の観音様のおかげだと信じ、英世とともにお礼参りに行きました。英世は、いつも母がおがんでいる観音様に、母への感謝の気持ちをこめておがみました。

そして、英世は、日本で最高の荣誉である恩賜賞の賞金で、田畑を買いしました。一町七反ほどでした。野口家もやっと一人前の農家になったのです。

父母とともに生まれた家ですごしたのは、十日ぐらいで英世は、医学界の人の講演会や歓迎会のため、東京へ行きました。いそがしい日程のなかで、英世は、えんりよがちな母をつれて旅をしました。